

とかりがね

「つないでいく」ということの意味と意義

駅伝は、一本のたすきにたくさんの思いを託し、それを次に引き継いでいく競技です。たすきをつないでいくことで、一人では走り切ることができない距離もみんなの思いを繋いで長い距離を踏破できるものです。

これを、この長瀬地区が先人から引き続いて大切に継承してきたものについて考えてみましょう。「相撲大会」や「猪子踊り」、「七階節」などです。

校内相撲大会の取り組みは中止ということにさせていただきましたが、「土俵入り」は何とか今年もつないでいきたいという思いは強いものがあります。しかし、現段階での6年生の思いは、取り組みがなければ土俵入りのみは「意味がない」「やる目的がわからない」など、土俵入りのみではあまり積極的に参加したくない、というのが初期の意見でした。

この反応を見た時、私の思いとはかなりかけ離れていると感じました。それが、今を生きる子ども達の本音だと実感しました。しかし、その思いを一方向的に否定するのではなく、しっかりと受け止めながら、「つないでいくこと」の意味と意義を子ども達とともに考えていくことで、納得できる部分やつなぐ当事者であることの自覚を引き出しながら、校内相撲大会を迎えたいと考えています。5月のPTA作業で汗を流して土俵を整備してくれた保護者の皆様の思いや地域の皆様の「目に見えない期待や思い」をしっかりと感じさせながら・・・。

こういった機会に、これまで多くの苦労がありながらも着実につないできた「長瀬小学校校内相撲大会」、そして地域の伝承行事である「猪子踊り」や「七階節」をたすきの役になってつなぐのは、誰だろうか？と子供たちに問いかけていきながら、たすき役として引き継ぐのは、長瀬に生まれ育つ自分たちであることの自覚を持たせ、「地域に関わり地域に生きる」未来志向の子どもを育てていきたいと思うところです。

菊池公民館長さんはじめ地域の皆さんから、おほりっこクラブへの勧誘、「猪子踊り」「七階節」へのお誘いを朝会でしていただきましたが、おほりっこクラブへの参加者は、例年より多く55人の希望があり今年度の活動がスタートしました。また「猪子踊り」(5月20日現在)、「猪子踊り」には参加申し込み6人、「七階節」の練習参加にも5人の申し込みがありました。積極的に関わろうとする子ども達の頑張りが見られます。

長瀬小学校は来年度、150周年を迎えます。長い間継承されてきた、人々の願い(～したい)を、今後も後世にしっかりつなげ、「残したい・継承したい・続けていきたい」という地域の願いや思いを実感を伴って想像し、自分がその「たすき役」として頑張らねばと

いう強い思いをもって、是非積極的に地域に関わり、地域に生きて欲しいものです。

ほかの誰でもない。長瀬に生きる自分たちが、長瀬に昔からつながってきているものを継承し、そして「これから」を創造主は自分達なのです。

そんな子ども達の自覚と思いと行動が、長瀬を更に未来に向けて元気にしていくと考えます。(文責:校長 沼澤 徹)



学校 NOW!

PART*

「つながり・挑戦」の5月



「1年生を迎える会」

左右確認
「気を付けて乗ろう！」



3年生 「サイクルトライアル」



自己紹介をかねて1年生クイズ!



2年生がクイズを入れながら紹介しました。

PTA 環境整備 土俵作り



2年ぶりに土俵をきれいに
させていただきました。



1年生 「学校たんけん」

5,6年生 「かりがね陸上記録会」



市陸上競技会は、今年度も中止となり、各学校で行う記録会の実施となりました。本校は5, 6年生が100M走, 走り幅跳び, 長距離走, リレーを行いました。目標を立てて、個人であるいはチームで練習に熱心に取り組んできました。本番では、保護者の方々の応援を力に、粘り強い走りを見せてくれました。他校との交流はできませんでしたが、下学年の前で頑張る姿を見ることができ、下学年も大いに刺激を受けた大会となりました。頑張りきった「かりがねっ子」に拍手!



地域・保護者の皆様に支えられて*ありがとうございます！



**5年生
米作り開始**

5年生がかりがね少年教室で田植えを行いました。初めて木杵を転がして印をつけ、足を泥だらけにしながらいきながら元気に苗を植えていきました。泥だらけになる人が続出しながらも「楽しかった」という感想が多かった5年生。質問したり、感想を発表したり、これからの活動も楽しみです。地域の先生方よろしくお願ひします。



**2年生
大好き！ながとろ**

2年生が「大好きながとろ」の学習の第1弾「松沢探検」に行きました。せんべいやさん、魚屋さん、公民館、神社など初めての松沢にびっくりです。「ここが私の家だよ」と教えてくれる人もいましたね。こんな長い道を歩いているのか...という感想もありました。大好きな長瀬のよさに気づいた学習でした。



**緑の少年団
活動スタート！**

緑の少年団の4年生が、紅花栽培を始めました。これからどんな紅花に関する活動を計画するのか。山形県のシンボルの花「紅花」。きれいな花が咲くのが楽しみです。また、緑の募金活動を行いました。みんなの募金で緑が増えていきますね！

残そう！昭和の記憶！守り伝えよう！長瀬の宝！

今年度も画文集『昭和の記憶』を中心に、想画の記憶をたどります。6年生による心に響いた想画の感想を届けます。

* 想画まめ知識 *

昭和元年、鈴木渡校長「新教育に立脚せる図画手工指導の実際」：霜田静志著を学校に寄贈する。昭和2年佐藤文利先生横山小学校より着任する。児童生徒数 676 名。表現能力を高めるために「綴り方」「図画」の教育に力を注ぐ。初めて国際親善生活図画展に10点出品し、1等(尋5)土田幸治、2等(尋5)小野直夫入賞する。
<つづく>(霜田清志と想画による教育:寒河江文雄より)

僕はこの想画を見て背景の色遣いや、人の書き方がとても上手だと思いました。後ろの山は緑一色だけで表してきれいだし腰が曲がっている人の描き方も上手だと思いました。5年生の時にやった田植を思い出します。

6年 森谷悠真



「田植えのころ」 吉田繁志 尋6 (28)

僕はこの想画を見て、昔の田植えの大変さがよく伝わりました。人の動きを表していたり、田んぼの水の色を濃い所、薄い所など工夫したりしてとても上手だなと思いました。さらにこの想画で5年生の頃の田植を懐かしいと感じました。想画を描くときの色遣いや、人の動きの描き方を詳しく学べました。

6年 大内光希



この想画を見て、山や田んぼの色合いや人が作業を行っているところを上手く表してすごいいました。また、今はほとんどの作業を機械で行っているけど、昔は手作業だったので大変だという事を伝えているような想画だと思いました。 6年 伊藤桜

